



平成28年7月27日

各 位

会 社 名 太 洋 工 業 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 細 江 美 則
(J A S D A Q ・ コード : 6 6 6 3)

問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 取 締 役 管 理 本 部 長 阪 口 豊 彦
電 話 0 7 3 - 4 3 1 - 6 3 1 1

平成28年12月期 第2四半期累計期間業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成28年1月29日付当社「平成27年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」において発表しました平成28年12月期第2四半期累計期間（平成27年12月21日～平成28年6月20日）の業績予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成28年12月期 第2四半期累計期間連結業績予想の修正等

	売 上 高	営 業 損 益	経 常 損 益	親会社株主に 帰属する 四半期純損益	1株当たり 四半期純損益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 予 想 (A)	2,456	△4	△9	△21	△3.60
今 回 修 正 (B)	2,407	△70	△39	△47	△8.17
増 減 額 (B - A)	△49	△65	△30	△26	—
増 減 率 (%)	△2.0	—	—	—	—
ご参考：前期第2四半期実績 (平成27年12月期第2四半期)	2,247	△8	4	△5	△0.93

2. 平成28年12月期 第2四半期累計期間個別業績予想の修正等

	売 上 高	営 業 損 益	経 常 損 益	四半期純損益	1株当たり 四半期純損益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 予 想 (A)	2,349	△2	△14	△24	△4.14
今 回 修 正 (B)	2,359	△46	△9	△10	△1.88
増 減 額 (B - A)	9	△44	5	13	—
増 減 率 (%)	0.4	—	—	—	—
ご参考：前期第2四半期実績 (平成27年12月期第2四半期)	2,063	△34	△0	△5	△0.98

3. 修正理由

第2四半期累計期間連結業績予想については、商社事業において中小型ディスプレイ向けの液晶モジュール検査システムの売上が計画より増加した一方で、主として、電子基板事業においてディスプレイメーカー向けの売上が計画どおり進捗しなかったことから、売上高は若干下回る見込みであります。損益については、FPC試作及び外観検査機の受注が計画どおり進捗しなかったことにより売上総利益率が当初予想より低下したこと、及び検査システム事業の受注が計画どおり進捗しなかったことに伴う影響等から、営業損益、経常損益及び親会社株主に帰属する四半期純損益はそれぞれ悪化する見込みであります。

第2四半期累計期間個別業績予想については、主として、連結子会社における検査システム事業の影響を除いた第2四半期累計期間連結業績予想の修正理由により、売上高は概ね計画どおり、営業損益は悪化、第1四半期会計期間の助成金収入の影響により経常損益及び四半期純損益は損失が縮小する見込みであります。

なお、通期業績予想については、第2四半期累計期間の業績の状況及び同期間末の受注残高を考慮した上で、電子基板事業における第3四半期以降の原価低減の取り組みを推進することで当初予想は達成可能であると判断しており、現時点では据え置くことといたしました。今後、業績動向を踏まえ修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示いたします。

4. 平成28年12月期配当予想

第2四半期末配当金及び期末配当金については、平成28年1月29日付当社「平成27年12月期決算短信〔日本基準〕（連結）」からの変更はありません。

※本業績予想等については、現時点で入手可能な情報及び合理的と考える一定の前提に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等の様々な要因により、予想数値と大きく異なる可能性があります。

以 上